

総代のみなさまへ

2024 年度 第 1 号 7 月 15 日

第 41 総代の任期は 2024 年 6 月 13 日～2025 年 6 月 10 日まで



生協ひろしま 理事会

2024 年度総代として生協の運営にご参加いただきありがとうございます。

毎月「総代のみなさまへ」の紙面を通じて、理事会報告を中心にさまざまな事業や活動の取り組みをお伝えしていきます。生協活動に理解を深め、より一層関心を持っていただけますようお願いしています。よろしくお願いいたします。



6 月 20 日開催 第 1 回理事会の報告

理事長挨拶

先週、第 40 回通常総代会が終了しました。総代の方からのご意見、質問にもありましたが、理解しやすいように資料や表を工夫して、よりわかりやすく伝わるよう改善していきます。

きょうされんへの障がい者支援金の贈呈式が本日ありました。これからも様々な形で支援を続けていきたいと思います。都知事選につきましても「首都が変わることで日本の政治が変わる」と言われて関心が高まる中、注視していきたいと思います。暮らしを取り巻く状況の変化は急速で課題はいろいろありますが、生協としては組合員の暮らし貢献を果たしてまいります。

第 1 号議案 コープいしかわピースナイター招待企画について

コープいしかわピースナイター招待企画について、承認されました。

被災地支援は、現地の仮設住宅などへ「お好み焼き隊」が直接訪問していますが、広島に招待をすることも支援のひとつとして限られた人数ですが、少しでも楽しんでもらえる企画とします。

<招待企画概要>

- ①2024 年 8 月 13 日（火）～15 日（木）2 泊 3 日 ※ピースナイター雨天中止時も決行します。
- ②コープいしかわの組合員親子 10 組 20 名をご招待します。
※コープいしかわでは、のとエリアの組合員親子で小学生以上、お孫さんとの参加も可能とされています。
- ③コープいしかわ、生協ひろしまの職員も同行します。
- ④行程としては、親睦交流会、宮島訪問、ピースナイター、おりづるタワー、お好み焼き（昼食）などを予定しています。
- ⑤今回の招待企画費用は約 248 万円（概算）になり、災害支援積立金より拠出します。

第 2 号議案 PEACE 音学会 ～世界平和都市から、愛を唄う～ 協賛について

PEACE 音学会への協賛（協賛金額 5 万円）について、承認されました。

2013 年から毎年 8 月 6 日にアリスガーデンでおこなわれている「PEACE 音学会」は、今年で 12 回目となり、自主運営、無料公演を継続されています。この間、ピースナイター始球式やコープひろばなどとともに平和行事の取り組みをおこなった、佐々木リョウさんより協賛の依頼がありました。

広島出身のミュージシャンが自主的自発的に音楽を通じて平和を発信する取り組みは、生協ひろしまの平和活動に通じるものがあります。音学会開催が利益目的でないこと、平和を願う取り組みであることから平和募金より協賛金を拠出します。

<開催日時・場所>

- ①2024 年 8 月 6 日（火）16 時開演 観覧無料
- ②アリスガーデン 広島市中区新天地 8 番地（広島パルコ横）

第3号議案 広島市中区光南の賃貸土地の進捗状況及び、今後の展開について

(新東広島支所の経過報告含む)

広島市中区光南の賃貸土地の進捗状況及び今後の展開について、2024 年以降の県内支所体制案について確認をしました。

＜広島市中区光南の賃貸土地物件の進捗状況＞

- ①広島市内の配送支所のコース数調整のため、2024 年 4 月に物件情報の紹介を受け協議を開始しています。
- ②好立地で形状・敷地面積ともに支所用地に適した物件で、現在の呉支所とほぼ同等の面積です。
- ③今回は土地購入をするのではなく、賃貸での交渉です。
- ④支所開発に伴う調整エリアは、出島・東雲・庚午・海田支所を予定しています。
- ⑤今回は進捗状況の報告で、7 月理事会で事業用土地賃貸借の合意書締結の提案をおこなう予定です。

あわせて、2024 年以降の県内支所体制案について確認をしました。

- ①全支所の総スパン数(トラック接車可能数)484 台に対して、担当コース数 545 コース、責任者コースを入れると 72 台が溢れた状態で、早朝の車両入替の責任者負担が増加中です。
- ②支所には配送車両以外に予備車両、夕食宅配車両、営業車両、車検対応用車両、職員のマイカー通勤車両などがあり、支所の駐車スペースの限界を超えた場合、近隣の駐車場、近隣店舗駐車場を借りて対応している状態となっています。
- ③配送ポイント増に伴う増設が厳しい支所は、海田・安佐南・東広島・庚午・三原・五日市・出島・加茂、続いて呉・尾道となります。

現在、新しい組合員を増やす活動(仲間づくり)をおこなっていますが、約 90%以上は個配利用となっています。また、班の解体(例えば、3 人班が解体し個配 3 カ所へ移行)などによる配送ポイント拡大は今後も確実に進捗する予測をしています。

2024 年度以降の予測は、個配が年約 2%の伸長、班は年約 4%の減少を予測しているため、広島市内・東広島市方面を中心に配送ポイント増加に耐えうるための支所構想を検討しています。

＜今後の県内支所配置構想(案)＞

(1) 第 1 次構想

- ①新東広島支所の構想により南エリア(東広島・黒瀬・海田・呉)と東エリア(三原)のコース数調整
- ②東エリア(加茂→箕島→尾道→三原→東広島)をピストン移動させ、コース数調整

(2) 第 2 次構想

- ①出島・東雲・庚午・海田・五日市の西エリアのコース数調整

(3) 第 3 次構想

- ①安佐南・五日市・庚午のコース数調整

また、6 月理事会で新東広島支所の建設基本設計が提案される予定でしたが、当初見込みよりもコスト高となっており、最終提案が間に合わないため、7 月理事会での提案となりました。

第4号議案 5 月度組織・事業状況及び決算報告 ※今月から予算を左端に変更しています。

1. 5 月度の決算・事業状況について、報告がありました。要旨は以下の通り。

2024年5月度		損益計算書				(単月)	2024/6/6	
						予算:41期予算	単位:千円	
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差
A	宅配事業	3,409,348	3,393,444	3,335,346	99.5%	-15,904	101.7%	58,098
B	店舗事業	742,220	752,045	719,135	101.3%	9,825	104.6%	32,910
C	供給高(利用高)	4,151,568	4,145,489	4,054,481	99.9%	-6,079	102.2%	91,008 (A+B)
D	供給剰余金	1,051,265	1,038,116	1,023,081	98.7%	-13,149	101.5%	15,034
E	GPR	25.32%	25.04%	25.23%	98.89%	-0.28%	99.24%	-0.19% (D÷C)
F	電力供給高	35,346	43,142	39,462	122.1%	7,796	109.3%	3,680
G	電力供給剰余金	346	-9,926	-8,485	-2868.8%	-10,272	83.0%	-1,441
H	福祉事業収入	116,675	120,221	120,431	103.0%	3,546	99.8%	-209
I	福祉剰余金	9,476	9,959	15,640	105.1%	483	63.7%	-5,681
J	その他事業収入	127,233	127,689	127,431	100.4%	456	100.2%	258
K	共済受託手数料	61,990	62,535	62,227	100.9%	545	100.5%	307
L	事業総剰余金	1,188,320	1,165,839	1,157,668	98.1%	-22,481	100.7%	8,171 (D+G+I+J)
M	人件費計	559,399	585,761	555,427	104.7%	26,362	105.5%	30,334
N	物件費計	633,289	615,144	588,388	97.1%	-18,145	104.5%	26,757
O	事業経費	1,192,688	1,200,905	1,143,815	100.7%	8,217	105.0%	57,090 (M+N)
P	事業剰余金	-4,368	-35,067	13,853	-602.8%	-30,699	-253.1%	-48,920 (L-O)
Q	事業外収益	22,556	27,253	30,001	120.8%	4,697	90.8%	-2,748
R	事業外費用	289	443	257	153.2%	154	172.0%	185
S	経常剰余金	17,899	-8,257	43,597	-46.1%	-26,156	-18.9%	-51,854 (P+Q-R)

■A 宅配事業

利用高は 33 億 9,344 万円、予算比 99.5%・予算差－1,590 万円、前年比 101.7%・前年差＋5,809 万円でした。利用人数は予算比 99.3%、実利用金額は予算比 100.9%。

宅配事業(2024年5月度)								店舗事業(2024年5月度)				
	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差		本年実績	前年実績	前年差	前年比
利用人数(名)	732,250	726,940	723,569	99.3%	-5,310	100.5%	3,371	来店客数(名)	323,483	312,984	10,499	103.4%
実利用金額(円)	4,934	4,980	4,944	100.9%	46	100.7%	35	客単価(円)	2,325	2,298	27	101.2%

■B 店舗事業

利用高は 7 億 5,204 万円、予算比 101.3%・予算差 982 万円、前年比 104.6%・前年差＋3,291 万円でした。来店客数は前年比 103.4%、客単価は前年比 101.2%。

■G 電力事業

供給剰余金は－992 万円、予算比－2,868.8%・予算差－1,027 万円、前年比 83.0%・前年差－144 万円。

■I 福祉事業

福祉剰余金は 995 万円、予算比 105.1%・予算差 48 万円、前年比 63.7%・前年差－568 万円。

■K 共済事業

受託手数料は 6,253 万円、予算比 100.9%・予算差+54 万円・前年比 100.5%、前年差+30 万円。

■O 経費（M 人件費・N 物件費）

人件費は 5 億 8,576 万円、予算比 104.7%・予算差 2,636 万円、前年比 105.5%、前年差+3,033 万円。
物件費は 6 億 1,514 万円、予算比 97.1%・予算差-1,814 万円、前年比 104.5%・前年差 2,675 万円。

■S 経常剰余金

5 月度経常剰余金は-825 万円で、予算比-46.1%・予算差-2,615 万円、前年比-18.9%、前年差-5,185 万円でした。

2024 年 4 月～5 月の累計実績は以下となります。

2024年4月～2024年5月度 損益計算書					(累計)		2024/6/6	
					予算:41期予算		単位:千円	
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差
A	宅配事業	6,655,660	6,635,685	6,312,032	99.7%	-19,975	105.1%	323,653
B	店舗事業	1,461,747	1,479,074	1,416,204	101.2%	17,327	104.4%	62,870
C	供給高(利用高)	8,117,407	8,114,760	7,728,236	100.0%	-2,647	105.0%	386,524 (A+B)
D	供給剰余金	2,053,377	2,031,477	1,953,711	98.9%	-21,900	104.0%	77,766
E	GPR	25.30%	25.03%	25.28%	98.97%	-0.26%	99.03%	-0.25% (D÷C)
F	電力供給高	84,158	94,439	90,814	112.2%	10,281	104.0%	3,624
G	電力供給剰余金	2,051	-10,415	-17,352	-507.8%	-12,466	140.0%	6,938
H	福祉事業収入	231,292	236,963	234,491	102.5%	5,671	101.1%	2,472
I	福祉剰余金	14,228	14,968	25,134	105.2%	740	59.6%	-10,167
J	その他事業収入	249,488	257,477	249,976	103.2%	7,989	103.0%	7,501
K	共済受託手数料	122,818	123,983	123,307	100.9%	1,165	100.5%	676
L	事業総剰余金	2,319,144	2,293,507	2,211,469	98.9%	-25,637	103.7%	82,038 (D+G+I+J)
M	人件費計	1,117,540	1,147,255	1,108,865	102.7%	29,715	103.5%	38,390
N	物件費計	1,180,064	1,130,760	1,077,516	95.8%	-49,304	104.9%	53,243
O	事業経費	2,297,604	2,278,015	2,186,381	99.1%	-19,589	104.2%	91,634 (M+N)
P	事業剰余金	21,540	15,492	25,088	71.9%	-6,048	61.8%	-9,596 (L-O)
Q	事業外収益	44,834	52,641	60,996	117.4%	7,807	86.3%	-8,355
R	事業外費用	662	811	848	122.4%	149	95.6%	-37
S	経常剰余金	65,712	67,323	85,236	102.5%	1,611	79.0%	-17,914 (P+Q-R)

＜損益計算書の用語説明＞

- C「供給高」⇒ 組合員が宅配および店舗で利用した金額。（一般に言う売上高のこと）
D「供給剰余金」⇒ 供給高から仕入れ金額を引いた利益額。
E「GPR」⇒ 供給剰余率のことで、供給剰余金を供給高で割ったもの。
（例）GPR が 22% の場合、売価 100 円の商品を 78 円で仕入れ、22 円の利益があるということです。
G「電力供給剰余金」⇒ 電力事業の収入から経費を引いたもの。
I「福祉剰余金」⇒ 福祉事業の収入から経費を引いたもの。
J「その他事業収入」⇒ 個配手数料や共済受託手数料など。
L「事業総剰余金」⇒ 供給剰余金、電力供給剰余金、福祉剰余金、その他事業収入の合計のこと。
O「事業経費」⇒ 事業をすすめるためににかかった経費のこと。（人件費と物件費を足したもの）
P「事業剰余金」⇒ 事業総剰余金（事業の収入）から事業経費（人件費と物件費）を引いたもの。
Q「事業外収益」⇒ 家賃収入など事業以外での収入のこと。
R「事業外費用」⇒ 支払利息などのこと。
S「経常剰余金」⇒ 事業剰余金に事業外損益（事業外収益から事業外費用を差し引いた損益）を加えたもの。

【収入】

L 事業総剰余金 = D 供給剰余金 + G 電力供給剰余金 + I 福祉剰余金 + J その他事業収入

【支出】

O 事業経費 = M 人件費 + N 物件費

【剰余金】

P 事業剰余金 = 【収入】 L 事業総剰余金 (事業の収入) - 【支出】 O 事業経費

S 経常剰余金 = P 事業剰余金 + 事業外損益 (Q 事業外収益から R 事業外費用を差し引いた損益)

2. コープ東広島 6 カ月点検について

コープ東広島店が 2023 年 10 月 6 日 (金) にリニューアルオープンし、6 カ月が経過しましたので数値状況および各部門の状況について報告がされました。

<2023 年 11 月～2024 年 4 月主な実績報告>

①供給高 ⇒ 前年比 (直営) 112.6% (目標差-13.1%)

※1 日あたりの平均供給高は前年約+36 万増加しています。

②GPR 実績 ⇒ 24.75% (目標差-1.25%)

※3 か月点検時 (24.74%) より 0.01%増加しています。

※夕方強化のため、生鮮部門を中心に販売強化を優先したことから値引き・廃棄ロス増加により、目標の 26.2%に届いていませんが、生鮮構成比は (目標差+1.3%) と生鮮・惣菜強化型としての成果がでています。

③部門別実績 ⇒ 供給高前年比では、惣菜 (151.8%) 水産 (119.4%) 日配 (114.6%)

農産 (111.9%) 衣料 (102.6%) 畜産 (108.5%)

④客数実績 ⇒ 1 日当たり平均客数 1,398 名で、前年より 109.3% (+127 名/日) 増加していますが、目標差-13.1%。

第 5 号議案 5 月度一般活動報告について

- 5 月度の内部統制 (法令遵守事項、商品お申し出、車両事故、労働災害、各種事故、ヘルプライン、残業など)、グループ会社 (コープサービス、コープハウジング、ハートコープ、ハートランド) の事業内容、について報告、確認しました。
- 第 40 回通常総代会まとめ (総代実出席・書面議決書状況) ついて報告、確認しました。
総代数 528 名、実出席 246 名、書面議決 249 名、合計 495 名で、出席率は 93.8%でした。
- 大竹市子育て用品宅配及び見守り・子育てサポート情報提供等業務への入札参加について報告、確認しました。

事業名「子育て用品宅配及び見守り・子育てサポート情報提供等業務」

令和 3 年 4 月 2 日から令和 9 年 7 月 31 日生まれの乳幼児と同一世帯に属する当該乳幼児を養育している家庭を対象に、おむつ等の支給品 3,000 円 (税別・隔月・0 歳～満 3 歳)をお届けし、お届け先の対象者と対話して、子育てに関する不安の有無や対象者と乳幼児の健康状態や養育環境を確認し大竹市へ報告することが本事業の目的です。

【文書報告】

- コープ商品の改廃情報 (2024 年 7 月～2024 年 9 月) について、廃番商品が 15 品目、コープフェイス商品の改廃情報はありません。
- 2023 年度末監事監査指摘事項回答要請文、2024 年度監事監査方針・計画が文書報告されました。
- 2024 年障がい者支援募金 助成先団体と贈呈式について文書報告されました。
- 組合員活動報告、地域連携活動報告、各会議議事録が文書報告されました。

インフォメーション

☆障がい者支援募金の贈呈

障がい者支援募金のうち 30 万円をきょうされん広島県支部に贈呈しました。
また障がい者作業所など 94 団体に一律 18,000 円、合計 1,692,000 円を助成します。

